

2023
秋号

富山大学ニューズレター autumn.2023. vol.09

富山
大学

News Letter

富山大学HP

X (旧Twitter)

YouTube



Contents

P.1 富山県初!公認心理師養成がスタート

P.4 活動紹介 富大起業部

P.5 富大ニュース

P.7 留学体験記

P.8 富山大学基金へのご寄附のお願い



心理相談室
も開設

Close-up
クローズアップ
特集

富山県初! 公認心理師養成がスタート。

富山大学は、富山県初の「公認心理師」の養成機関となりました。県内の関係機関と連携・協力しながら公認心理師の養成にあたるなかで、実習の場として、また地域社会への貢献として「心理相談室」を開室しました。特集では、その内容についてクローズアップします。

人間関係、ストレスや落ち込み、性格や行動の悩みなど「心」の問題に対応する「心理の専門家」を養成します。

不登校やうつ、子育て不安など、心の問題が多様化し、専門家による心理的支援のニーズが高まっています。

富山大学では、そのような時代の声に応え、富山県初の公認心理師養成機関となりました。公認心理師とは何か？公認心理師になるにはどうしたらいいのか。富山大学で学ぶメリットや修了後の進路などについて、公認心理師でもある人文学部の喜田裕子教授にお話をうかがいました。



人文学部 喜田 裕子教授

公認心理師とは？

ひと言で表すなら「心理支援の専門家」。



複雑かつ多様化する心の健康問題への対応として、2015年に成立した公認心理師法に基づく国家資格です。心の問題は実に幅広く、どう生きるか、なぜ生きるかという悩みや迷いを抱えている方もたくさんいます。このため、公認心理師は、病気との関連などを含め、多職種と連携しながら、心の改善・解決や心の健康に向けた支援を行います。

<公認心理師の仕事>

専門的知識・技術で「心の健康」を守る。



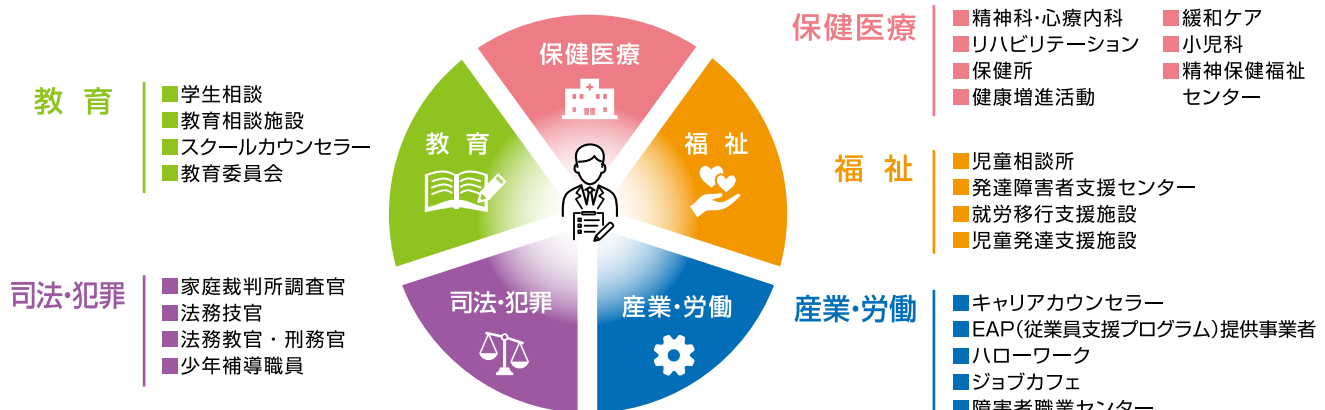
公認心理師は、心の健康を守る専門職であり、心理学に関する専門的知識・技術をもって、以下の業務を行います。

1. 心理に関する支援を要する者の心理状態の観察、その結果の分析
2. 心理に関する支援を要する者に対し、その心理に関する相談及び助言、指導その他の援助
3. 心理に関する支援を要する者の関係者に対する相談及び助言、指導その他の援助
4. 心の健康に関する知識の普及を図るための教育及び情報の提供

<公認心理師の活躍の場>

保健医療、福祉、教育など幅広く活躍！

活躍の場は、保健医療・福祉・産業労働・司法犯罪・教育など様々です。心の問題は年代、立場を問わず誰もが抱える可能性があるため、公認心理師が求められる場面が今後ますます増えると期待されています。

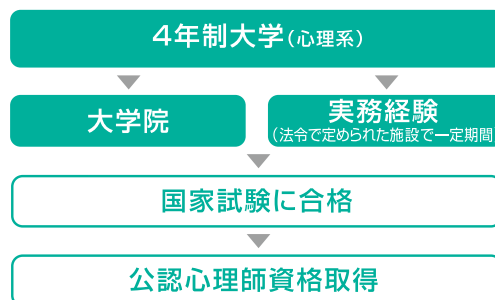


公認心理師になるには？

学部と大学院で履修後、受験資格を取得。

基本的には、学部と大学院とで、指定科目を履修することによって受験資格が得られます。また、指定科目を履修して学部を卒業した後、法令で定められた施設で実務経験を積むことで得られる場合があります。

人文学部心理学コースでは、令和4年度入学生から指定科目を開設しました。学部と大学院の合計6年間、富山大学で学ぶことによって受験資格を得ることができます。



富山大学で学ぶメリットは？

知識と技術を両輪で身につける。

01 少人数で充実した教育体制

心理学コースの専任教員は9名で、学生一人ひとりに丁寧な指導を行います。臨床心理学を専門とする4名の教員は、スクールカウンセラー、医療現場の心理師、元家庭裁判所調査官など、臨床経験を豊富に有しており、充実した教育を受けることができます。

02 富山県で初めての公認心理師養成

富山県初の公認心理師養成機関として、県内の各関係機関と連携・協力しながら、養成にあたります。

03 総合大学の強みを生かした実習

富山大学附属病院において、医学部生とともに精神科臨床実習を行い、多職種連携や心理師の役割を学べます。また、適応指導教室等の学外実習では、地域で求められる心理師の役割について、体験的に学べます。さらに学内に開設されている心理相談室で、ケースを担当しながら指導を受けることができます。

04 資格取得後の進路選択をサポート

進路選択が具体的にイメージできるよう現場の心理師をゲストスピーカーに招きます。また、心理系の公務員などを志望する学生には情報提供や支援を行います。

ココにも注目 / 富山大学心理相談室

悩みや困りごとの相談 + 実習の場としての役割

心理相談室は人文学部校舎2階にあり、子どもから高齢者まで、地域の皆さんの様々な悩みや困りごとを臨床心理学の立場から支援しています。昨年10月の開室以来相談が殺到したため、今年10月から新体制を整え、受付を再開することになりました。

相談は、臨床心理学の専門的訓練を受けた大学院生が、公認心理師の資格を持つ教員の指導のもとで担当。来談者に合わせて、カウンセリングやプレイセラピー、心理査定などを行います。


「大事なのは、来談者のプロセスをじゃませず、抱えている悩みを丁寧に引き出し、受け止めることです」と語る喜田教授。相談内容は、学校や職場、家庭における人間関係、子育て、ストレスや

落ち込み、性格や行動の悩みなど多岐にわたる、地域の皆さんにとっては身近で頼れる相談の場に、また、公認心理師を目指す学生にとっては大切な実習の場になっています。

喜田教授は、「実習を通して養われる人間力も、公認心理師としての活躍を後押ししてくれると思います」と期待を寄せています。



詳しくは 富山大学心理相談室ホームページ <https://www.hmt.u-toyama.ac.jp/shinri/counseling-center/> または

富山大学 心理相談室  で検索



左から松丸さん、久高さん、岡田さん、平野さん

何となく大学に入り 何となく就職する… この状況を「アントレプレナーシップ」を 切り口にして変える!



富大起業部は、今年度認可された新設の課外活動団体。「富大起業部に関わる人全員の幸せを追求し、若者の力で人類を前進させる力を作る」をミッションに掲げ、大学院生1名、学部生9名の計10名で活動をスタートしました。部長を含む3名はすでに学生起業家として活動中で、具体的な起業を準備している部員もいます。

部長の岡田さん、副部長の平野匠人さん(経済学部3年)と久高諒也さん(経済学部2年)、会計の松丸道幸さん(都市デザイン学部4年)に話を聞きました。

発足のきっかけ

なりたい自分、やりたいことを 考え行動する機会が必要!

発起人の岡田さんは昨年、富山大学との共同主催事業「とやま呉西圏共創ビジネス研究所」に参加。「自分の人生について考える機会が少ない学生のために、なりたい自分ややりたいことについて考え行動できるようサポートする場所が必要」との思いから、半年後の研究成果報告会で「大学生起業家による富山大学生のアントレプレナーシップを育むプラットフォーム」を発表しました。この事業プランを具体化するために立ち上げたのが、富大起業部です。

すでに学生起業家として学習塾を運営している岡田部長は、「行動力がハンパない人(松丸さん談)」で、イベントや広報事業を手がけている平野さん、対話や執筆で内省・発信をサポートしている久高さんなど、多彩なメンバーが次々に入部し、起業部を支える存在になっています。

起業部の役割

敷かれたレールから降りて 外の世界を経験する機会を

部員の共通認識としてあったのは、「多くの同級生が、何となく大学に入り、何となく就職していく」状況。この状況を変えるきっかけを「起業」という切り口で提供し、サポートしようと考えました。「敷かれたレールに乗るだけの人生なんて、もったいない! 一度、レールから離れ、自分の得意なことを知るための経験、ロールモデルとの出会い、新規事業アイデアを得るなど、自分でしっかり体験してみることが大事。富大起業部は外の世界との架け橋でもあるのです」と岡田部長。

目指しているのは、部員が挑戦したい「起業」をインキュベートすること。具体的な起業を準備している部員に対しては、ビジネスプランの壁打ち相手となるなど、具体的なスタートアップを部員全員でサポートします。さらに、学外の企業や経済団体などの協力を要請することも想定しています。

活動状況

人的ネットワークを広げながら 一人ひとりの挑戦をサポート!

毎週日曜と木曜(不定期)のミーティングでは、起業を準備している部員がビジネスプランをプレゼンテーションするほか、活躍中の起業者を外部講師に招いて体験談を聞く機会も設けました。経営者が定期ミーティングに同席するなど、県内経営者とのコミュニティが形成され、人的ネットワークも広がりを見せています。

7月には物販ビジネスの知識を学ぶために、富山県護国神社で定期開催されている「富山のみ市の市」に出店。近日中には部員が古着屋をオープンする予定です。

担当教員message

自分のやりたいこと を見つける場に

起業する時って「失敗するかも」と思うものです。失敗したら不利なレッテルが貼られるとか、今後の人生はどうなるんだ?と思うこともあるでしょう。

しかし、最初からうまくいくことはないし、例えば「ゼルダの伝説」だって経験値を得てだんだん強くなっていくわけです。それと同じ。勇気を出して、一歩ずつ踏み出していくという行為を多くの富大生に試してもらいたいですね。飲食店、販売、イベントでも何でもいい。自分のやりたいことを経験してほしい。起業して成長するという期待もありますが、学生たちのマインドが変わればいいというのが私の考えです。本当は何がやりたいのか。自分の軸は何か。富大起業部は、それを見つける場になればと思っています。



地域連携推進機構
地域連携戦略室・講師
塩見 一三男



富山県による 寄附講義「農業経済学」を開講



4月18日、富山県と連携し、経済学部生を対象とした寄附講義「農業経済学」が開講されました。講義では、農業政策、農業経営等について基礎的な知識を身に付けるとともに、気候風土と豊かな水に恵まれ、全国屈指の水田率や圃場整備率、都道府県別食料自給率を誇る富山県の農業の特徴を学びました。

また、この学びを広く県民にも共有するための公開講座が開講されました。7月29日、第1回目の講座では「世界・全国からみた富山県農業の現状と可能性」と題して講演があったほか、県内各地域の先進的な取組事例が紹介されました。本講座は全3回実施予定で、第2回は10月14日、第3回は10月28日に開催します。

駐日欧州連合代表部一行が 富山大学を訪問



6月20日、駐日欧州連合代表部一行が本学を訪問しました。2021年に開始した欧州連合の研究開発支援枠組みであるHorizon Europeを通じた国際共同研究の促進を目的とし、今回の訪問を契機に、欧州との学術交流の発展が期待されます。

齋藤学長から、本学の強みであるアルミニウム及び和漢医薬学について紹介があり、続いて本学教員から、現在進めている最先端研究や、Horizon Europeに採択された経験等についてプレゼンテーションがありました。その後、駐日欧州連合代表部一等参事官・科学・イノベーション・デジタル・その他EU政策部部長のゲディミナス・ラマナウスカス氏らから、Horizon Europeの概要と日本の研究者が参加するメリット等について説明があり、活発な意見交換が行われました。

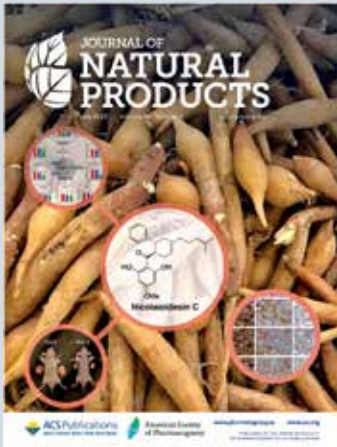
芸術文化図書館がリニューアルオープン



5月12日、芸術文化図書館がリニューアルオープンし、本を納める空間から、知識を生み出し公開する空間に生まれ変わりました。新たに美術館と同等の規格を持つ展示ギャラリーも備え、これから段階的に、地域に開いた図書館としてプログラムを展開していきます。

リニューアルオープンにあたり、6月12日まで展示ギャラリーでは「かたちのナラトロジー」展が開催され、芸術文化学部教員、石川将士助教（鋳金）、小泉巧助教（漆）、長田堅二郎講師（現代彫刻）の作品が展示されました。

がん微小環境をターゲットとした
新たな膵臓がん治療薬の開発



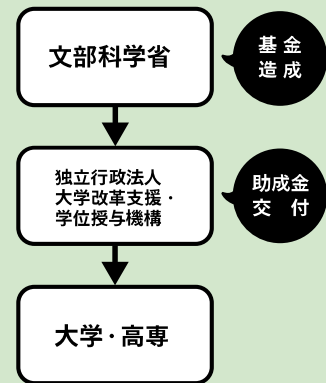
和漢医薬学総合研究所のストレス アワレ 准教授、学術研究部 工学系の豊岡尚樹教授と同医学系の藤井 努教授らの共同研究 チームは、膵臓がん 治療に有望な天然由来の化合物を発見しました。東アジアに 分布するショウガ科の植物「ポエセンベ

ルギア・パンデュラタ」から発見された天然有機化合物で、低酸素・低栄養状態（がん微小環境）における膵臓がん細胞の働きを強力に阻害し、増殖や転移を抑えます。今後、既存の膵臓がん治療薬とは異なるメカニズムを持つ、新たな治療薬の開発が期待できます。本研究成 果は、学術誌「Journal of Natural Products」の表紙に掲載されました。

文部科学省「令和5年度大学・高専 機能強化支援事業」に採択

本学は富山高等専門学校と連携し、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構が公募した「令和5年度大学・高専機能強化支援事業」に申請し、採択されました。この事業はデジタル・グリーン等の成長分野をけん引する高度専門人材の育成に向け、文部科学省が基金を創設し、大学へ支援を行うものです。

本学は当事業において、令和6年度に理学部、工学部、大学院博士課程の改組と入学定員の変更を予定しています。また、富山高等専門学校とのカリキュラム開発や、教育面における連携、さらに県内企業・関係団体等の各機関からの実務家教員派遣を含む様々な連携により、高度情報専門人材の育成を促進し、同分野の活性化に貢献して参ります。



受賞者紹介

2023年4月～7月

令和5年度科学技術分野の文部科学大臣表彰
若手科学者賞

2023年4月19日

研究推進機構アイドリング脳科学研究センター
准教授

宮本 大祐



AWMFT2023 / APSTP2023
Graduate Student
Excellent Presentation Award

2023年5月15日～19日

理工学研究科 理工学専攻1年

岡田 伶真



第40回とやま賞
とやま賞(学術研究部門 人文社会分野)

2023年5月22日

学術研究部医学系
准教授

山田 正明



NHK学生ロボコン2023
特別賞 東京エレクトロン株式会社賞

2023年6月4日

工学部創造工学センター

TomiRoboチーム



電子情報通信学会
業績賞

2023年6月8日

学術研究部工学系
教授

菊島 浩二



2023年度日本神経化学会
奨励賞

2023年7月9日

和漢医薬学総合研究所神経機能学領域
助教

楊 熙蒙





留学先 マーレイ州立大学 (アメリカ)



人文学部英米言語文化コース4年 高木 梨帆

この度は富山大学基金事業海外留学支援プログラムの奨学生として多大なるご支援をいただき、誠にありがとうございました。

留学先では、人との交流を一番大切にして過ごしました。留学の目的の1つが「いろいろな価値観、考え方に触れること」であったため、留学生向けのイベントや、各宗教について触れることができるイベントに学内外問わず参加しました。

一番思い出に残っているのは、各国の料理をそれぞれの国出身の学生たちが作り、お互いに振る舞いあったことです。私自身も照り焼きチキンと手巻き寿司を振る舞いました。他の日本人学生4人と協力して、100人以上も作りました。時間をかけて、みんなで苦労して作った料理があっという間に無くなってしまったことが何よりも嬉しかったです。改めて日本食の人気度を実感したイベントでした。そこでは、日本だけでなく、インドやナイジェリア、パレスチナ、韓国、ウクライナなどの料理を体験しました。

他にも、毎週日曜日は教会に行き、キリスト教に触れ、聖書を読むことでキリスト教や自分自身について周りの人と議論を深めました。キャンパス内は本当に多国籍で、約15カ国の学生と話す機会を作ることができました。彼らと授業を受け、食事に行く中で、宗教や文化の違いだけでなく、そこから生まれる価値観や考え方をたくさん知りました。これらの経験から、自分の中の常識に捉われる必要はなく、自分を大切に生きていきたいと思うようになりました。

楽しいことと同じくらい辛いこともあった留学でしたが、大きく人生観が変わる有意義な時間を過ごすことができました。今後は、自分のアイデンティティである日本、そして地元福井のことをもっと深く知り、それらを世界に発信していく活動を続けていきたいです。



友人の誕生日パーティー



食イベント「Multicultural Night」

各国の料理を学生たちが作り振る舞いあいました。キャンパス内の食堂で開催され、インターナショナル生だけでなく、一般の学生も食事に来るスタイルでした。



富山大学基金へのご寄附のお願い

基金の種類

【富山大学基金（一般基金）】

学生支援、教育研究支援、国際交流支援、地域社会貢献支援、キャンパス環境整備等支援、基金全般

【修学支援基金】

授業料の免除、海外学生派遣支援、短期語学研修派遣支援等

【研究等支援基金】

学生または不安定な雇用状態にある研究者に対する支援

【リサイクル募金】

読み終えた本・DVD・ブランド品等の買取査定額を寄贈

【課外活動支援基金】

課外活動施設・設備の整備、物品費、大会旅費等の支援、課外活動全般の支援に関する事業等

【医学部基金】

医学部の教育・研究環境の整備、医学部の教育・研究活動の支援等

【工学部基金】

工学部の教育・研究環境の整備、工学部の教育・研究活動の支援、工学部改修事業等



読み終えた本などの
リサイクル品で募金ができます

寄附の方法

インターネットでのご寄附



銀行・ゆうちょ銀行からのご寄附



遺言によるご寄附



「ほくリンク」ポイントでのご寄附



寄附者様ご芳名（令和4年10月～令和5年3月）

（寄附者のご芳名は五福キャンパス事務局棟玄関フロア及び富山大学基金ホームページでもご紹介しております。）

【個人】（50音順にて記載 敬称略）

會澤 宣一	井川 善也	池田 真行	井上 大輔	伊原 大輔	大石 雄基	沖津 貴志	黒澤 信幸
黒田 廉	酒井 秀紀	將積日出夫	上不 大輝	杉本 健士	関本 昌紘	田口 雅登	竹越 栄俊
恒枝 宏史	竹村 樹里	武山 良三	谷口 直子	田村 俊介	千葉 順哉	手賀 悠真	寺島 裕一
東田 千尋	戸田 英樹	友廣 岳則	直井小百合	中 茂樹	長柄 毅一	長坂 保彦	長崎 真一
長津 輝彦	中野 実	鳴瀬 諒子	萩原新之介	橋本 征也	藤井 拓人	古橋 直樹	松谷 裕二
丸山 昭治	水口 峰之	水野真理子	宮島 光志	森 雅之	守田 雅志	森山 健三	矢倉 隆之
矢田 哲也	吉田 勝一						

（ほか公表辞退 49名）

【企業・法人等】（50音順にて記載 敬称略）

一般財団法人立仁会

富山大学生生活協同組合

雷鳥会

（ほか公表辞退 2社）



ご寄附のお申し込み、お問い合わせは
富山大学広報・基金室にお願いいたします。

問合せ先：富山大学 総務部 総務課 広報・基金室

TEL: 076-445-6178 E-mail: kikin@adm.u-toyama.ac.jp

URL: <https://tomidaikikin.adm.u-toyama.ac.jp/>

発行／国立大学法人 富山大学

編集／富山大学広報委員会

問合せ先／〒930-8555 富山市五福3190番地

TEL: 076-445-6028 FAX: 076-445-6063

E-mail: kouhou@u-toyama.ac.jp

